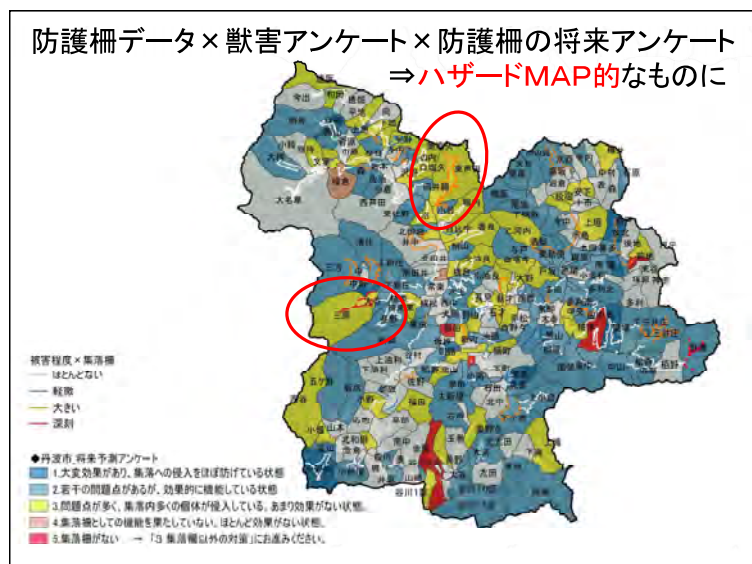
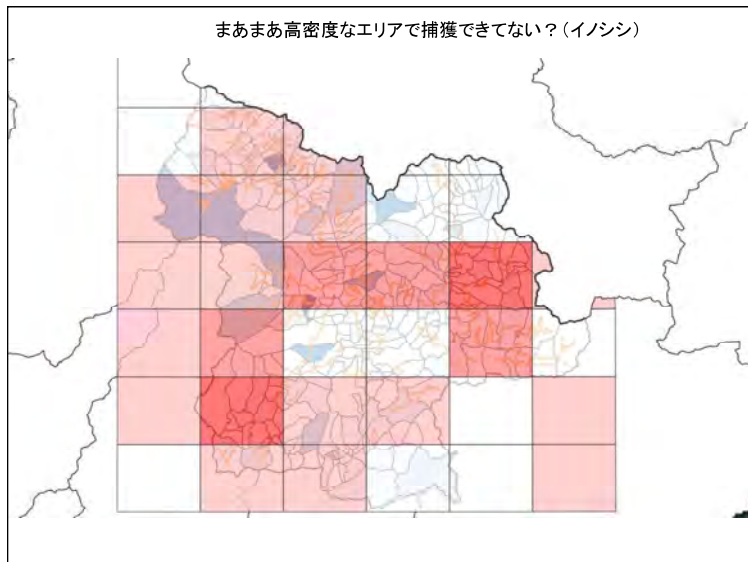
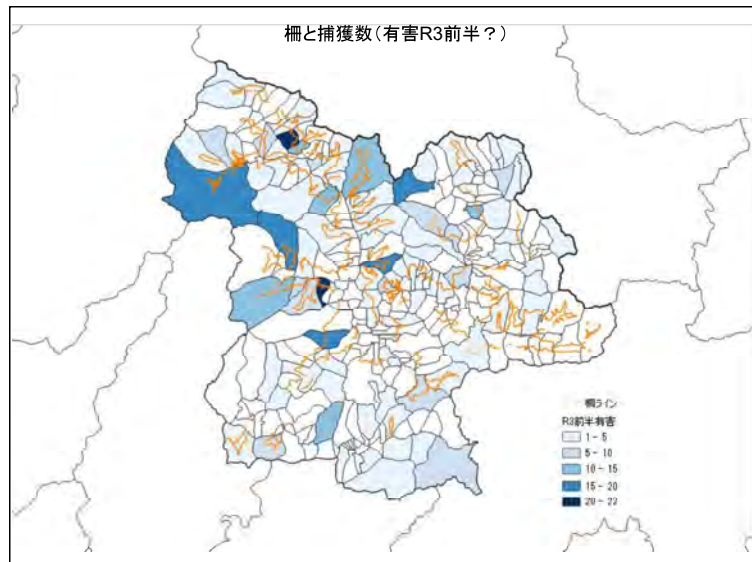
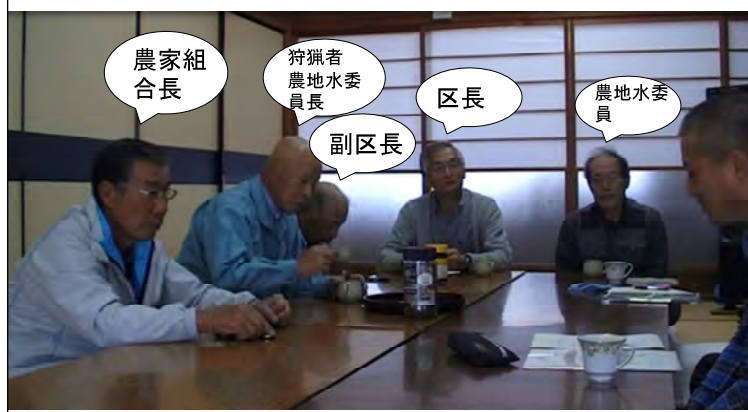




ステップ1 役員との協議や聞き取り

・役員等と集落の要望や問題、対策の方向性などを確認



ステップ2 集落の下見や課題発見

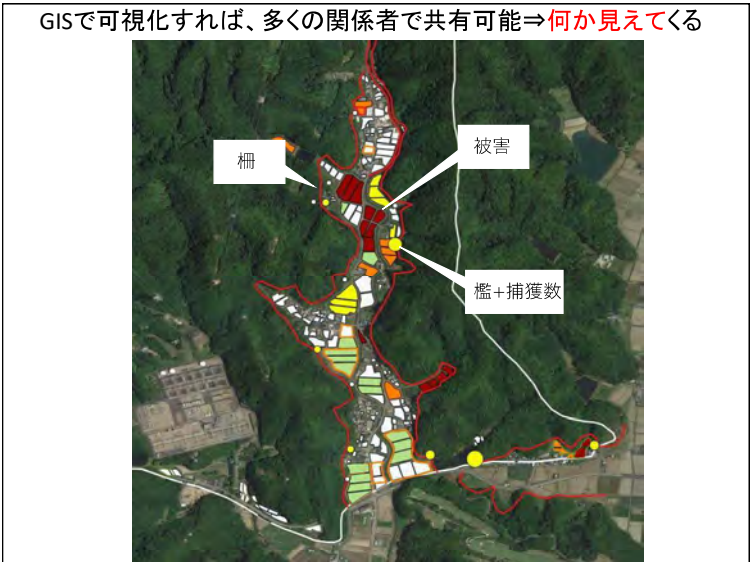
まずは役員と「一緒に下見」しておく
(少しでも土地勘があると提案もしやすい)



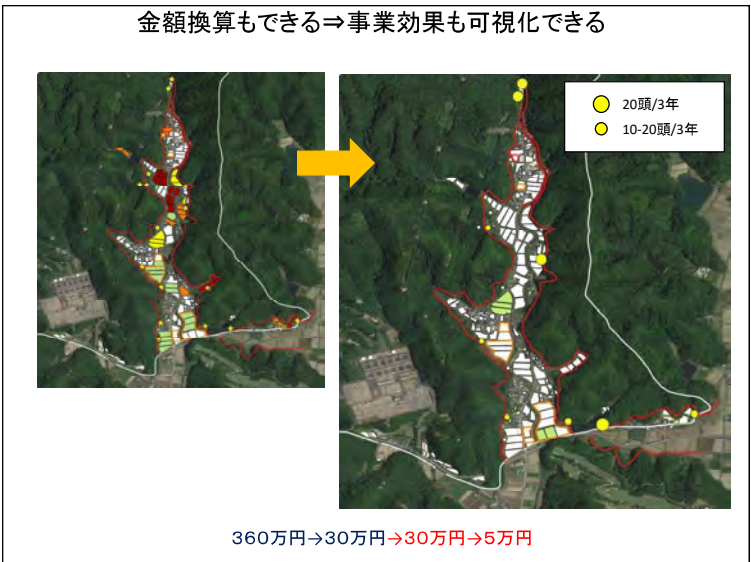
ステップ3 センサーカメラ等で課題の可視化



■ 2~5万円程度
■ 赤外線フラッシュ
■ 動画1~2分
■ 単三電池6~8本
■ SDカードに記録
■ ネットでも購入可
例: 株式会社GISupply
<http://www.gisup.com/>



被害状況の可視化は
取り組みの効果も
可視化できます



ステップ5 研修会・座談会

・研修会・座談会により、集落全体で獣害対策の基本を理解してもらいます。



伊賀市霧生地区

伊賀市鈴鹿地区



ステップ6 現地研修会・集落点検

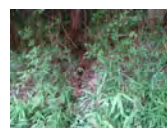


伊賀市
岡花地区

伊賀市
川東地区



野菜クズ捨て場



獣道



間違った電柵設置

集落内の獣害場所、被害対策の現状、エサ場となっている状況などを点検します。**おススメ！**

ステップ7 ワークショップ



ワークショップは、いろいろな「地域を動かす」ことにつながります
(森動センターで一緒にやれます)



ワークショップは、いろいろな「地域を動かす」ことにつながります
(森動センターで一緒にやれます)

課題	解決策
- 隠れ場が多い - 雑木、やぶ、竹地がある - 川の本流、支流がある - エサ場が多い - 野さいがある - 果樹がある(りんご、ビワ) - ロケット花火でおいほらい - しているが一部 - 昼間人が少ない - 金網フェンスは効果がある - 全体的に柵は少ない。	- 個人で - 地域ぐるみで - 行政に ネットの補強と設置 ロケット花火を追いはらい 犬で追いはらい 侵入されにくい体制づくり ヤブをきれいにする 集落の全体を柵でかこう。

これは絶対必要！ いろいろな「地域を動かす」ことにつながります
(一緒にやれます)

集落点検を「獣害につよい集落」づくりに繋げるために

- 問題点を文章化する
- 解決策や目標を考え明記
- できること、役割分担を明記
- 「間違い探し」で終わらない

W.Sの進行は
関係機関共同で
(複数人で連携がおススメ)

獣害対策の分野は
まだまだ
知識や技術の
普及が十分でない

いろいろな手法で



■理解
■納得
■共感

が得られます

ステップ8 被害対策の実施



伊賀市
小杉地区
出会い作業で集落全体
に防止柵を設置

補助事業等を
活用して...



伊賀市
炊村地区
集落ぐるみでの
追い払い

ステップ9 定期的な巡回や指導・改善



柵の点検講習



防護柵の巡回



サルの追い払い研修



檻管理研修

日を決めておくことおススメ。2か月に一回くらいできたら良いですけど

ステップ10 結果の評価と反省会



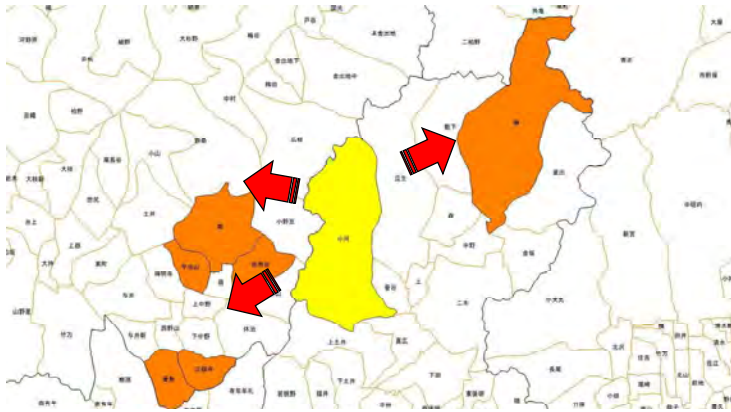
当初の被害



5年目の被害

1年の反省と次年度の改善点の提案⇒これをしなければ意味ナシ！

核となるモデルは周辺への波及効果が期待できる



大げさに言えば「社会を変える(改善)する」
→規模の大きいアクションリサーチ

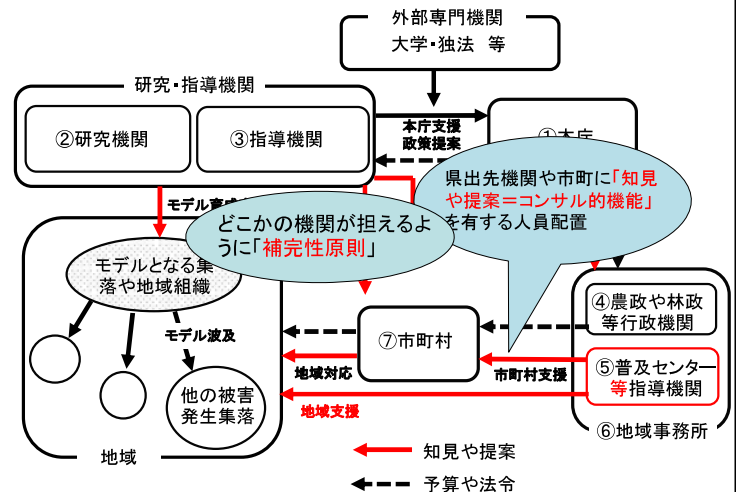
実践することで人の意識も変わる



3日置きには点検した。研修会や現地点検を通じて、点検も「やらなあかん」と思い始めた。去年は半分は被害に。今年は被害ゼロ。

「公助」の仕組みを

「獣害につよい集落」づくりを進め得る行政組織の模式図(山端2020改変)



具体例

兵庫県佐用町

2022/9/5
獣害に強い集落づくり

8月25日 集落柵点検

◆獣害対策アドバイザーの山端先生と、関係機関の職員で点検を実施

◆青色の部分歩いて点検

◆☀のフェンスに約20cm四方の穴を発見。



佐用町役場作成の集落への報告資料より

ステップ2 集落の下見や課題発見

まずは役員と「一緒に下見」しておく
(少しでも土地勘があると提案もしやすい)



2022/8/5
獣害に強い集落づくり

8月25日 集落柵点検

◆ の写真

◆ 穴の大きさは
約20cm四方。

◆ この地点に設
置した赤外線
カメラに映っ
たイノシシの
侵入映像がこ
ちら。



集落に伝えるため、「この集落の課題」を関係者で調査中

2022/8/5
獣害に強い集落づくり



集落に伝えるため、「この集落の課題」を関係者で調査中

2022/8/5
獣害に強い集落づくり



それを住民に「伝える」ための報告会⇒行政からの提案

佐用町役場 柏原氏(本人了承済)



獣害対策に関する集落支援を通じて、「住民からの評価」「仕事の面白さ」を実感

現在困っている
解決することができる

獣害対策は
評価されやすい仕事です

そのためには
共有できる目標が必要

それは
■集落で農業が営める
■暮らしやすい集落に

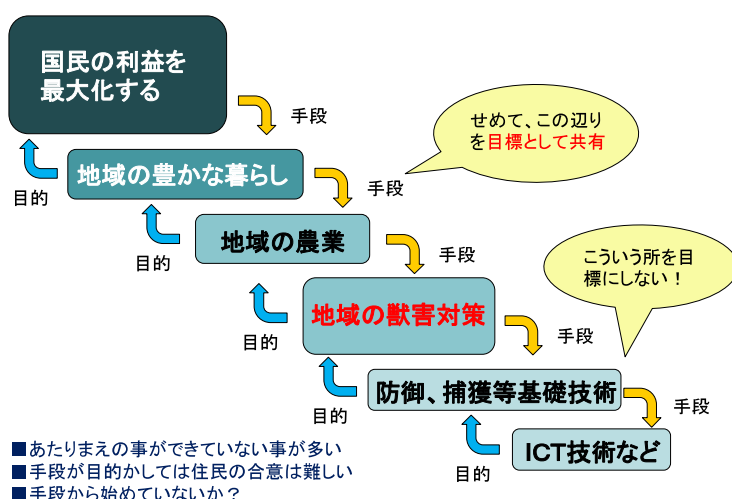
常に思い出す！ 獣害対策の目的は何か？



相生市小河集落のレンゲ祭り

農業を維持する。暮らしやすい集落を作る。

獣害対策の「目的」を共有することが重要



私の実践は

兵庫県
20～30集落／年の
支援体制（支援チーム）
を構築中
（いろいろ模索も）

- ・伊賀市でのサルとシカ対策の成果や管理を維持する
- ・その手法を普及する
(定期的な研修会を開催してます)

<https://sites.google.com/view/jugai-tech/jugai.tech@gmail.com>



〒516-0802
三重県伊勢市御前町新堀80番地 大西ビル301号
株式会社アイエスイー内
☎ 0596-65-7100 (平日: 9時~18時)
EID jugal.tech@gmail.com FAX: 0596-36-3847

對策先進技術管理組合 編輯：羅林水編者

主編：（一社）財團法人港務管理協會 編輯：羅林水廣



● 關於此項研究，請參見：